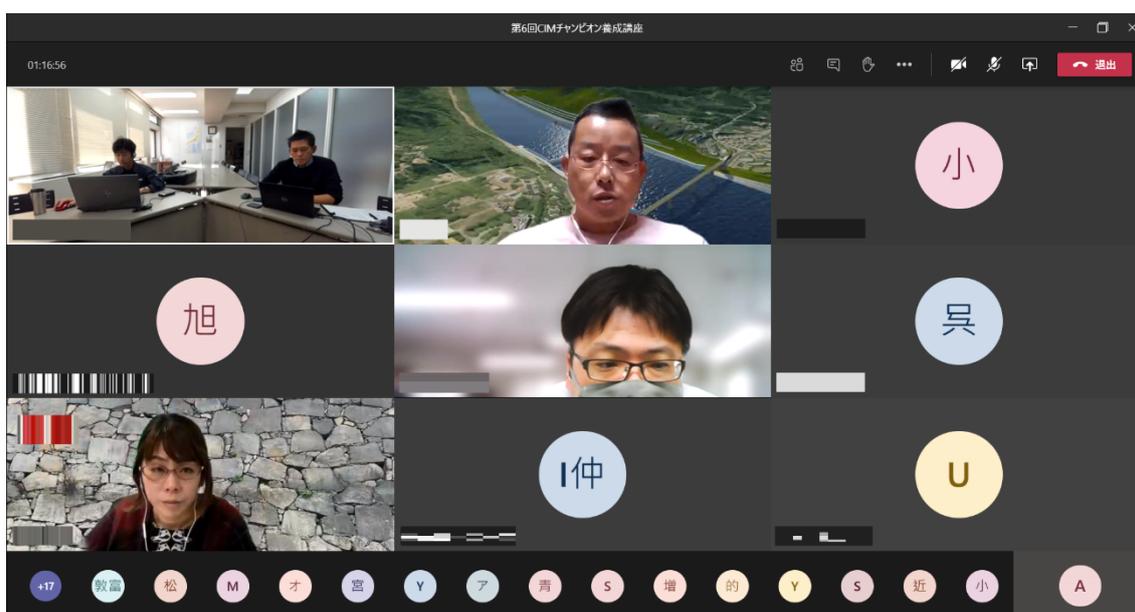


2020年度 第6回 CIM チャンピオン養成講座 開催報告

2020年11月28日
CIM研究会 事務局

2020年11月28日、オンラインにて第6回 CIM チャンピオンを開催しました。今回は、14社24名の技術者の方に参加していただきました。誠にありがとうございました。

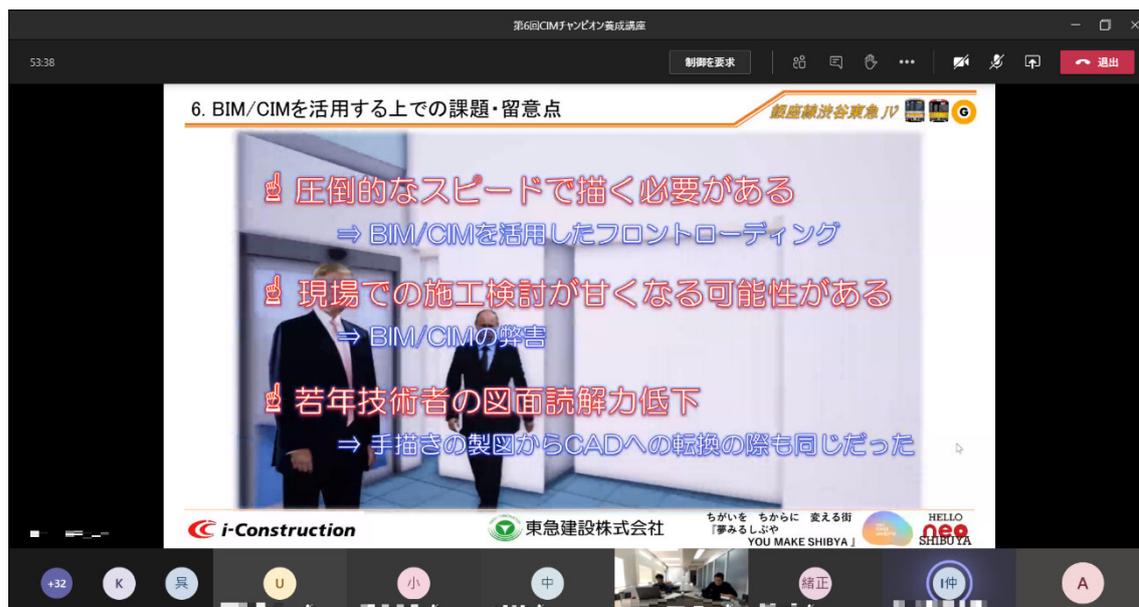


MS Teams を利用したオンライン講座の様子

第6回の CIM チャンピオン養成講座では、東急建設株式会社の小島文寛様、池田仲裕様より「東京メトロ銀座線渋谷駅移設工事における BIM/CIM の実践」と題して、ご講演いただきました。講演の流れとして、「銀座線渋谷駅 駅移設事業概要」、「鉄道営業線改良工事とは」、「活用事例について」、「BIM/CIM 導入のきっかけ・目的等」、「BIM/CIM を活用する上での課題・留意点」、「これからの施工現場での BIM/CIM の実践」とご講演を進めていただきました。

最初に、これまで取り組まれていた銀座線渋谷駅移設工事の事例とともにお話しいただきました。移設工事を進める際、各種施工協議で各部署の担当者との協議をするときに、2D の平面図・断面図が使われていたのですが、イメージが掴みにくく、理解度が低くなり協議内容が正確に伝わらなかったそうです。このことから、受発注者双方が産官学一体となって取り組めるように、3D で可視化をすることで、迅速な合意形式が生まれ、早期施工着手につながったそうです。

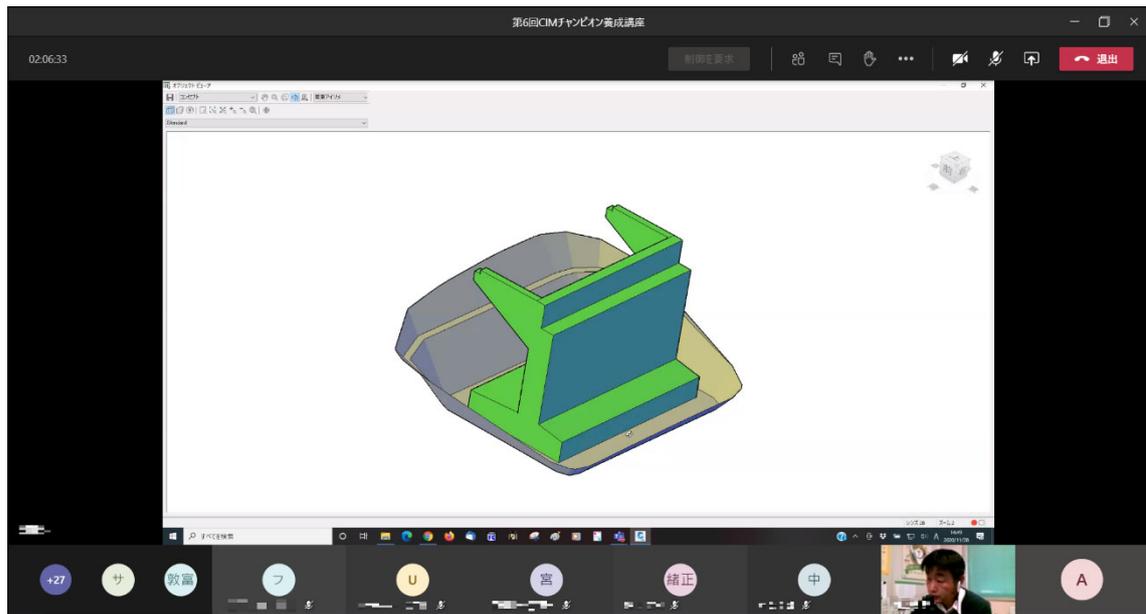
最後に、これからの施工現場での BIM/CIM の実践として、施工の現場においては、3D モデルを作成することが目的ではなく、3D モデルが完成してからがスタートであり、現場での施工計画・検討の深度化を図ることを怠らないように注意すること。また、若手からベテランまで BIM/CIM 活用への取り組みを実施することが大切であるとお話いただきました。



講演の発表の様子（MS Teams の画面）

講演後は演習に移りました。今回は Autodesk Civil 3D を用いての応用編の演習でした。今回の演習では、「Autodesk Civil 3D 2021 応用編」の全 43 ページを扱いました。内容としては、「Autodesk Civil 3D 2021 基礎編」で学んだ基礎的な内容を踏まえて、応用的な内容を行いました。コリドーを使って掘削方面を作成し構造物を配置するやり方や、横断図にオブジェクトを投影するやり方などを行いました。また、演習の最後に、重機を動かすためのマシンガイダンスの作成を行いました。マシンガイダンスの作成には、マシンガイダンス用のソフト TOPCON の 3D-Office を使用します。

今回の演習では、以前に行った基礎編を踏まえた応用的な演習であったため、複雑な内容でしたが、実務に直接活用できるものが多いので、以前に行った基礎編と併せて今回の応用編を復習することでより理解が深まると思います。



Civil 3D による地形サーフェスと構造物の演習

今回は皆様のご協力もあり、無事に講演と演習を行うことが出来ました。演習の際に聞けなかった質問や疑問に思ったことなどがありましたら、まずは KOLG で検索し、お気軽に投稿してください。

次回の CIM チャンピオン養成講座は、12月12日（土）になります。次回は国土交通省九州地方整備局立野ダム工事事務所の方より「立野ダム事業における CIM モデルの活用事例」と題してのご講演を予定しております。演習では、Navisworks を予定しております。連絡事項は、KOLG にて案内しますので、しっかりと確認し、事前の準備をお願いいたします。次回も皆様にお会いできるのを楽しみにしています。

(担当：佐藤藍羅)